

平成 29 年度

第一回

学校関係者評価報告書

評価対象期間

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 29 年 9 月 30 日

学校関係者評価委員会

平成 29 年 9 月 12 日

学校法人 琉美学園

琉美インターナショナルビューティカレッジ

学校関係者評価報告書

平成 25 年度の職業実践専門課程認可を受けてから本年度まで、より良い教育環境の整備と実践的な技能訓練の場を設置して参りました。

しかしながら技能の習得には未収軸な点もあり、その度改善をして参りましたが、技能向上には未だ結びつかないのが現状で有り評価委員の助言を取り入れた教育内容の改善が急務と思われる。

本年度は学校評価関係者のみならず美容実技教師の声を含み改善点を相互に検討するものであります。尚、本学園は引き続き学校運営の改善や教育の質の保証の強化に取り組んでいく所存です。

① 学校関係者評価委員

委員長	呉屋良昭	学校法人 琉美学園	理事長	
委員	山城範昌	美容室	ヘアブティックグー	代表者
委員	友寄結太	美容室	ヘアースタジオマリセリ	代表者
委員	和田信明	琉美インターナショナルビューティカレッジ		学科長
委員	仲川美佐子	琉美インターナショナルビューティカレッジ		教頭

② 評価基準毎の学校関係者評価

評価値	5	適正
	4	ほぼ適正
	3	やや適正
	2	改善必要
	1	不適切

1. 教育・理念 5

- イ. 創設以来の教育理念である「芸は身を助ける」を明確に伝え広く学内周知に努めている。
- ロ. サロンのニーズに適応出来る人材育成を教師が一体となって職業教育にあたっている。
- ハ. 整理整頓・教育環境の美化及び礼法を取り入れるなど適切である。

2. 学校運営 5

- イ. 朝礼終礼など、職員間の連絡が密に行われ学生の管理状況を常に認識し合うなど運営管理が成されている。
- ロ. 組織の指示系統の連絡網が年度毎に改定され、特に緊急時の連絡体制や学生、保証人等への連絡の準備が整えられている。
- ハ. 理事会・評議員会を定例で行っており役員に収支報告が成されている。

3. 教育活動 5

- イ. 全国理容美容学生技術学生大会（日本理容美容教育センター主催）
全国学生技術コンテスト（全国理容美容学校連盟主催）
他、学生の技術向上を目指し全国的な大会に出場するなど、教師と生徒が一体となり目標に進んでいる。

4. 学修成果 4

- イ. 学校にて初歩的なサロン動作を指導しているが、挨拶など作法について、店ごとの基準が多少異なるため学生に戸惑いを感じられた。
- ロ. 開店時間・閉店時間・受付終了時間など学生には現場の営業時間帯や時間内の施術作業が営業時間帯に終了しないなど改善が感じられたとの報告があった。
- ハ. 学校での就業時間とサロンでの営業時間との差を感じ始めている。特に込み合う時間帯の接客には臨機応変な対応を求められるなど、サロン実習の接客の鍛錬がより必要と思われる。

5. 学生支援 5

- イ. 担任は就職について個別に対応しており計画的な就職カウンセリングを頻繁に行っている。
- ロ. 学生図書室には過去の先輩が就業するサロン情報が閲覧又は掲示物を見て情報が得られるように成っている。
- ハ. 奨学金の案内及び返還について事細かく説明が成されており、就職後の教育ローン返済に係る費用などを中心に義務を履行するよう指導ができています。

6. 教育環境 5

- イ. 校舎・教室等の美化が実施されており年度毎の修繕が計画的に実施されており、教育環境の整備が行き届いている。
- ロ. 防火防犯マニュアルが決められており、教職員の指揮の下、学生の避難誘導経路が確保されており十分に認識できている。
- ハ. 職業実践専門課程実施サロンの紹介など学生に対する美容室の紹介が継続的に実施されている。特に遠方からの学生には情報が少ないため学校側から紹介している。

7. 学生の受け入れ状況 5

- イ. 学生募集状況は計画的に行われており、学生活動状況を出身校に報告するなど高校卒業後の学生生活情報を開示するなど適正である。
- ロ. オープンキャンパスに在学生在が積極的に協力参加しており、入学希望者の良き模範となっている。
- ハ. 奨学金など入学に係る費用を募集要項に適切に情報開示を行っている。

8. 財務 5

- イ. 財務状況は無借金など、負債が無く良好と言える。ただし学生減少に推移し今後の財政状況には少なからず影響があるので経費節約に努めて頂きたい。
- ロ. 財務状況の報告をホームページで掲載する必要がある。
- ハ. 事業計画に沿った支出計画を複数年で計画実施を検討する必要がある。

9. 法令遵守 5

- イ. 養成施設設置基準の要件を満たしており、学生個人情報の取扱いについては周知がなされており引き続き法令を遵守する。
- ロ. 学生便覧・学則に沿い入学期には説明会が実施されるなど適正と言える。
- ハ. 自己評価の開示を適切に公表しているなど、学生アンケートを実施している。

10. 地域貢献 5

- イ. 年間行事の中にボランティアを計画しているなど適正と言える。老人ホーム訪問ではメイクをするなど学生の社会貢献を積極的に推し進めている。
- ロ. 地域貢献活動を学期毎に実施するなど環境の美化清掃を行うなど環境整備に力を入れている。
- ハ. 学内での喫煙を禁止するだけでなく、ごみ拾いを積極的に取り入れている。

11. 国際交流 5

- イ. 課外活動に海外研修を全ての学科で実施するなど学校の特色が感じられる。また留学生を受け入れるなど学生に取り他国の情報に興味を示す割合が非常に高く感じられる。
- ロ. 卒業生が海外で活躍する情報を掲示しているなど、卒業後の進路に役立っている。
- ハ. 外国語の習得のために英語教員を配置するなど身近な国際感覚を持てるよう環境を取り揃えている。

全体的に適正な教育活動及び環境整備が実施されており、引き続き学生に対し適切な指導を行って頂きたい。年度ごとの情報開示を適切に行い法令遵守の姿勢を教職員全体として実施して頂くことが重要である。
以上、学校関係者評価報告といたします。

平成 29 年 9 月 12 日

学校法人 琉美学園
琉美インターナショナルビューティカレッジ美容本科職業実践専門課程